

吹奏楽における表現活動の多様性に関する研究(2) - フルート四重奏曲の作曲を通して -

著者	菅原 克弘, 八條 美奈子, 多田 宏江
雑誌名	北翔大学生涯学習システム学部研究紀要
巻	14
ページ	59-72
発行年	2014
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00000183/

吹奏楽における表現活動の多様性に関する研究（2）

—フルート四重奏曲の作曲を通して—

Research in diversified performance of wind bands (2)

—Composition of the piece for flute quartet—

菅 原 克 弘 八 條 美 奈 子

Katsuhiko SUGAWARA Minako HACHIJO

多 田 宏 江

Hiroe TADA

1. はじめに

北翔大学北方圏学術情報センター PORTO 共同研究プロジェクト吹奏楽研究グループでは、「吹奏楽における表現活動の多様性に関する研究（1）」に於いて吹奏楽における多様な表現活動の可能性について論じた。

本稿では、吹奏楽における表現活動の一環として、八條がフルートのためのアンサンブル作品の作曲を実践した経緯、作品の解説とその評価をまとめ、考察し、最後に実際の作品の楽譜を掲載する。

音楽活動に欠かせない音楽作品を創造する作曲家としての表現活動と、その作品を具体的な音によって表現する演奏家としての表現活動の双方向から、表現活動の多様性について論じていく。

2. 経緯

音楽史を辿ってみると、バロック、古典、ロマン派の作曲家はすぐれた演奏家でもあった。バッハ、モーツァルト、ベートーベン、ショパン、リスト等々、偉大な作曲家兼演奏家は枚挙に暇がない。一般的には、その後近代になるにつれ、作曲家と演奏家は分業制となっていく…とされる。しかし果たして本当にそうだろうか？各楽器それぞれに、その楽器の奏者による魅力的な作品は日々生みだされているのだ。

八條は日頃フルート奏者として演奏活動を行っている中で、フルート奏者自身の作った作品を数多く演奏してきた。その楽器の持つ魅力や可能性、逆に演奏不能のことを熟知したフルート奏者による作品が、非常に頻繁に演奏され広く愛好されているのは、フルートへの深い愛情と造詣が音楽に溢れているからに他ならない。例えばモダンフルートの祖、テオバルト・ベームによる華麗な超絶技巧作品、パリ音楽院フルート科教授であったポール・タファネルやフィ

リップ・ゴーベール等による美しい試験曲，現代アメリカを代表するゲイリー・ショッカーのポップで刺激的な作品群に至るまで，フルートを演奏する喜びを作曲家と演奏家が共有する愉しみがそこには確かに存在しているといえよう。

八條が自分なりにフルートのための音楽を作りたいという創作意欲が芽生えてきたのは，自作自演を活動の主とするフルート奏者，茨城県在住の多久潤一郎氏の創作，演奏活動に刺激を受けたことによる。多久氏は，平成19年の「第18回日本フルートフェスティバル in 札幌（現札幌フルートフェスティバル）」のために「フルート協奏曲」（神田勇哉氏のフルート独奏と札幌フルート協会によるフルートオーケストラ，阿部博光氏の指揮で初演）を作曲した際，創意溢れる作品の奏法を指導するために来札して以来，度々演奏会や講演会，クリニックなどで札幌のフルート界に大きな影響を与え続けている存在であり，当研究グループ主催の平成24年度のレクチャー「吹奏楽を大解剖！」においても作曲家兼フルート奏者として講演いただいたことがある。作曲家と演奏家の両方の立場で稀有な才能をもった存在として世界的にも注目を集めている氏との交流が数年来続く中で，未知の表現領域である「作曲」への興味が湧いてきたのである。

3. 創作の過程

そんな中，八條が実際に作品を作って発表する機会が訪れた。本番は平成25年10月18日，19日に札幌市北区のモエレ沼公園内ガラスのピラミッドにて行われる「フルートレボリューション from 札幌 Vol.2」（資料1，2）である。「フルートレボリューション from 札幌」は平成24年から実行委員会が行っている企画で，前述の多久氏の自作によるフルート属のみによるアンサンブル作品を本人と札幌フルート協会所属のフルート奏者達（八條を含む）とで演奏し，発表する演奏会としてスタートしているが，作品の魅力，作曲者本人からの演奏法の技術監修と，単なる発表の枠におさまらないエンターテインメントとしての演出のアドバイスを受けたことが，この演奏会の成功と，今後の継続的な開催への後押しとなった。平成25年に第2回目を開催するにあたり，実行委員会では制作のコンセプトとして，1. 引き続き多久氏をプロデューサー兼演奏家として招くこと 2. 札幌側の出演者も新作，あるいは編曲作品を出品することを決めた。この2番目のコンセプトを満たすことと前述の八條の創作欲が合致し，出品を決めたのは平成25年1月のことである。同じ年の10月までに作品を仕上げて発表することを自らに課してから，初めての試みに挑戦するということと日常の活動の両立との厳しい葛藤に悩みつつ，最初の数か月は，作品のテーマ決めと，主となるモチーフの選定に費やした。小さなメロディを思いつくたびに録音，またはメモをとるという作業を繰り返しつつ，試作品となるごく短い3楽章形式のフルート四重奏曲を5月にまとめた。その後，その中の第3楽章に相当する部分を膨らませて完成させることを決め，多少整えて8月に奏者に演奏依頼をし，実際のメンバーに試演の協力をいただいた。その際の助言も参考にしながら，中間部を書き足し，カデ

4. 作品について

今回、八條が作曲をするにあたり最初に設定したのは、吹奏楽部活動でフルートを演奏している中学生や高校生にも演奏可能な作品にすることだった。「フルートレボリューション」の演奏会では若い人へのフルートによる多様な表現の発信や文化啓蒙を重視しているが、多久氏の作品に頻出する特殊奏法（ビートボックス、スラップタンギング、カラートリル、ジェットホイッスル、タングラム等）を習得するのは相当の熟練を要することであり、また札幌フルート協会の協力なしでは考えられないアルトフルート、バスフルート、コントラバスフルートといった特殊管フルートの調達も通常では困難といえる。上記をふまえて編成は通常のコンサートフルート4本による四重奏とし、特殊奏法は使わずなるべく技術的に平易で、曲の規模は5分を越えない小品とすることとした。これは、学生の管楽器アンサンブル経験の場として最もポピュラーな全日本吹奏楽連盟主催のアンサンブルコンテスト（予選となる北海道大会での名称は「北海道管楽器アンサンブルコンクール」）の出場規定が、一団体5分以内であることに依る。タイトル“Cheerful Morning!”には早朝練習から吹奏楽部活動に勤しむ中学生や高校生へのエールの気持ちと、作曲者自身の青春時代へのノスタルジックな思いが込められている。

譜例 1

Vivace ♩=140 ca.

The score is for four flutes (Flute 1, 2, 3, 4). It begins with a tempo marking of **Vivace** and a metronome indication of ♩=140 ca. The first system shows the flutes entering with various dynamics: Flute 1 starts with *mp* and *cresc.*, Flute 2 with *mp* and *cresc.*, Flute 3 with *mp* and *cresc.*, and Flute 4 with *p* and *mp cresc.*. The second system features more complex passages with trills and slurs, marked with *f* (forte). The third system continues these passages, also marked with *f*.

全体構成は A-B-A' の単純な三部形式になっている。短い前奏はベルトーンで目覚まし時計の鳴る様子を表し、それに続く第1主題では朝の明るい希望や期待感とともに、ユーモラスな雰囲気表現している（譜例1）。前半はハ長調で終始明快さを失うことなく、スピード感をもって進んでいく。

ホ長調に3度転調する中間部では慌ただしい朝の情景から一転し、幻想的で夢見るような世界を描いた。第3フルートと第4フルートのアルペジオが色彩感のある背景を作りだし、その上で第1、第2フルートがのびやかな旋律を歌いあげていく（譜例2）。

譜例 2

87 Moderato (♩ = 80)

Fl. 1 mp

Fl. 2 mp

Fl. 3 mp

Fl. 4 mp

91

Fl. 1

Fl. 2

Fl. 3

Fl. 4

中間部から再現部への移行の直前に、第1フルート奏者による自由なカデンツァを挿入する部分を作った。この部分は特に何も挿入せず、全員がロングトーンで属和音から主和音へ解決させるだけでも演奏可能である。八條作のカデンツァでは、過去の作曲家達のフルート作品における「鳥」のモチーフを組み合わせ、変容させることで朝のイメージを膨らませてみた。ボザ（フルート四重奏曲「夏山的一天」より）、メシアン（「黒つぐみ」より）、プロコフィエフ（「ピーターと狼」より）、ヴィヴァルディ（フルート協奏曲「ごしきひわ」より）、が順番に登場するカデンツァとなったが、これはフルートを理解し、優れた作品を遺した偉大な作曲家へのオマージュでもある（譜例3）。

譜例 3 カデンツァ



再現部では束の間のまどろみを忘れて再び最初の活気を取り戻し、忙しい朝を駆け抜けるように曲は終わる。

今回の創作にあたって八條は、数多のフルート四重奏の優れた作品群のうち、特にフランス近代のピエール＝マックス・デュボアやジャック・カステレード、ウジェーヌ・ボザ等の作風を意識して、美しい色彩感と躍動感、抒情性を併せ持った作品を目指した。19世紀後半のベームシステムの確立後、パリ音楽院で真っ先にベーム式フルートが取り入れられたことと、近代フランスに優れたフルート作品が生まれたことは密接な関わりがあるといえよう。独奏、オーケストラ、協奏曲、室内楽、様々な分野で最も効果的なフルートの魅せ方を知っているフランスの作曲家に敬意を払い、彼らのような洒脱さ、機知を少しでも音楽で表現したいという思いを貫きながら、作曲にあたった。

5. 初演と演奏メンバーによる作品評

初演のステージでは、札幌フルート協会を代表する卓越した演奏家達のサポートによって、全く危なげなく、鮮やかに演奏が行われた。当初予想した以上に豊かなイメージーションの溢れる世界を描き出すことができたのは、メンバーの技術と音楽性に加えて、聴衆の暖かい雰囲気にも励まされたことも一つの要因と思われる。

以下に演奏メンバーの作品に対するコメントを掲載する。

「『女子高生の慌ただし朝』というコンセプトのイメージが、キャッチーなメロディに乗せてダイレクトに伝わってきます。そして、主題の慌たらしさは対比的に、中間部分はゆったり美しいハーモニーが広がります。アンサンブルを作る時、テーマのスピード感と、中間部分のハーモニーを作る事に注意しました。出のタイミングを上手く合図をしながらメリハリを付けて演奏する事を勉強するのに大変面白い作品だと思います。」(第2フルート 大倉まみ氏)

「コンセプトは、見事に反映されていたと思います。複雑ではないにしても、アンサンブルの楽しさや、はまった時の達成感が味わえました。爽やかで前向きな曲調の間に、フルートならではのカデンツァが入る緩やかな中間部があったのも素敵でした。学生さんたちに、是非トライしてみたいです。」(第3フルート 高殿幸氏)

「耳馴染みやすいメロディで、それぞれパートの掛け合いが効果的に用いられていて、アンサンブルとしての醍醐味が味わえますので、部活でフルートを吹いている生徒からベテランの方まで、幅広く楽しめる作品だと思います。」(第4フルート 立花雅和氏)

これらのコメントを読む限りでは、当初の学生向けという設定は果たせたかと思われる。今後、この作品が実際に学生に演奏される機会を作り、どのように演奏されていくかを検証し続けたい。

6. 考察

八條は今回の創作活動を通して、五線紙やパソコン、キーボードに向かって頭の中で音を想像し、記録していく孤独な作業の過酷さ、自分の伝えたい思いや考えを音楽にするという作業の困難さを知った。また、「この経験は小さな音符一つひとつに込められた作曲家の思いを実感するという意味において、これまでの演奏家としての自分を顧みるこれ以上ない機会にもなった。わずか5分足らずの小品を書き上げるのに半年以上の時間を費やして発表までたどり着いた喜びを知ったことで、自分の紡いだ楽譜が生きた音楽となった感動を忘れず今後の演奏活動に生かし、できればこれからも創作活動を継続したい」と考えるに至った。

音楽活動において作曲家が様々な思いを持って創った作品は、作品そのものの価値観とはまた別に、演奏家による演奏表現という再現過程を経て人々の心に伝わり、残っていくものである。また、同じ作品であっても、演奏家の感性や洞察力、演奏技術などにより、いかようにも表現される。再現芸術である「音楽」の宿命として、作品として完成した時点で終わりではなく、作品そのものの持つ魅力と融合し合いながら更に多様な表現活動の可能性が生まれることが「音楽」の魅力であるといえよう。

本研究では次に金管バンドに焦点を当て、歴史的背景を踏まえながらその演奏形態の持つ魅力や特徴的な活動から、吹奏楽における表現活動の多様性について考察する。

謝辞

本稿と、拙作“Cheerful Morning!”の作成にあたり、終始惜しめないアドバイスを下さった多久潤一郎氏、作曲法のご指導をいただいた谷津祐子氏、初演に協力いただいたフルート奏者の大倉まみこ氏、高殿幸氏、立花雅和氏、「フルートレボリューション from 札幌」実行委員会の皆さん、ご支援くださった全ての方に、この場をお借りして御礼申し上げます。（八條美奈子）

付記

本研究は平成25年度北翔大学北方圏学術情報センター研究費の助成を受けて実施した。

Cheerful Morning!

for Flute Quartet

八條美奈子作曲
Mitsuko Ichihi Jo, 2013

Cheerful Morning!

Vivace ♩ = 140ca.

The score is written for four flutes (Flute 1, 2, 3, 4) and includes dynamics such as *mp*, *p*, *f*, and *cresc.* The tempo is marked **Vivace ♩ = 140ca.** The score is divided into measures 1-8, 9-16, 17-24, 25-32, and 33-40. The key signature has one sharp (F#).

Cheerful Morning!

x

Measures 33-36 of the musical score for 'Cheerful Morning!'. The score is for four parts: R.1, R.2, R.3, and R.4. Measures 33 and 34 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. Measures 35 and 36 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. The dynamics are marked *dim.* (diminuendo) in measures 35 and 36.

Measures 37-40 of the musical score for 'Cheerful Morning!'. The score is for four parts: R.1, R.2, R.3, and R.4. Measures 37 and 38 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. Measures 39 and 40 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. The dynamics are marked *mp* (mezzo-piano) in measures 37 and 38, and *p* (piano) in measures 39 and 40.

Measures 41-44 of the musical score for 'Cheerful Morning!'. The score is for four parts: R.1, R.2, R.3, and R.4. Measures 41 and 42 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. Measures 43 and 44 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. The dynamics are marked *p* (piano) in measures 41 and 42, and *mp* (mezzo-piano) in measures 43 and 44.

Measures 45-48 of the musical score for 'Cheerful Morning!'. The score is for four parts: R.1, R.2, R.3, and R.4. Measures 45 and 46 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. Measures 47 and 48 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. The dynamics are marked *mp* (mezzo-piano) in measures 45 and 46, and *p* (piano) in measures 47 and 48.

- 3 -

Cheerful Morning!

Measures 49-52 of the musical score for 'Cheerful Morning!'. The score is for four parts: R.1, R.2, R.3, and R.4. Measures 49 and 50 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. Measures 51 and 52 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. The dynamics are marked *mp* (mezzo-piano) in measures 49 and 50, and *f* (forte) in measures 51 and 52.

Measures 53-56 of the musical score for 'Cheerful Morning!'. The score is for four parts: R.1, R.2, R.3, and R.4. Measures 53 and 54 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. Measures 55 and 56 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. The dynamics are marked *f* (forte) in measures 53 and 54, and *mp* (mezzo-piano) in measures 55 and 56.

Measures 57-60 of the musical score for 'Cheerful Morning!'. The score is for four parts: R.1, R.2, R.3, and R.4. Measures 57 and 58 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. Measures 59 and 60 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. The dynamics are marked *f* (forte) in measures 57 and 58, and *mp* (mezzo-piano) in measures 59 and 60.

Measures 61-64 of the musical score for 'Cheerful Morning!'. The score is for four parts: R.1, R.2, R.3, and R.4. Measures 61 and 62 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. Measures 63 and 64 show a melodic line in R.1 and R.2, with R.3 and R.4 playing a rhythmic accompaniment. The dynamics are marked *f* (forte) in measures 61 and 62, and *mp* (mezzo-piano) in measures 63 and 64.

- 4 -

Cheerful Morning!

62
64
66
68

R.1
R.2
R.3
R.4

ff
ff
ff
ff

crac.
crac.
crac.
crac.

70
72
74
76

R.1
R.2
R.3
R.4

78
80
82
84

R.1
R.2
R.3
R.4

dim.
dim.
dim.
dim.

86
88
90
92

R.1
R.2
R.3
R.4

p
p
p
p

Cheerful Morning!

94
96
98
100

R.1
R.2
R.3
R.4

p
p
p
p

102
104
106
108

R.1
R.2
R.3
R.4

Moderato (♩=80)
mp
mp
mp

110
112
114
116

R.1
R.2
R.3
R.4

f
f
f
f

118
120
122
124

R.1
R.2
R.3
R.4

p
p
p
p

Cheerful Morning!

99 100 101 102 103 104

R.1 R.2 R.3 R.4

mf *mp*

105 106 107 108 109 110 111

R.1 R.2 R.3 R.4

mf *f* *p* *rit.*

Free cadenza (B-flat) 1st flute cadenza 1st flute cadenza 1st flute cadenza

Cheerful Morning!

112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124

R.1 R.2 R.3 R.4

f *f* *f* *f* *f* *f* *f*

Tempo 1 ♩ = 100 ca.

Cheerful Morning!

Measures 125-128 of the musical score. Four staves (R.1, R.2, R.3, R.4) are shown. The music features a rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes, with a melodic line in R.1. Measure 128 ends with a repeat sign.

Measures 133-136 of the musical score. Four staves (R.1, R.2, R.3, R.4) are shown. The music continues with a similar rhythmic pattern. Measure 136 ends with a repeat sign.

Measures 137-140 of the musical score. Four staves (R.1, R.2, R.3, R.4) are shown. Measures 137 and 138 are marked *sfz*. Measures 139 and 140 are marked *cresc.* and end with a repeat sign.

Measures 141-144 of the musical score. Four staves (R.1, R.2, R.3, R.4) are shown. Measures 141 and 142 are marked *f*. Measures 143 and 144 end with a repeat sign.

Cheerful Morning!

Measures 145-148 of the musical score. Four staves (R.1, R.2, R.3, R.4) are shown. Measures 145 and 146 are marked *f*. Measures 147 and 148 are marked *p* and end with a repeat sign.

Measures 149-152 of the musical score. Four staves (R.1, R.2, R.3, R.4) are shown. Measures 149 and 150 are marked *mf*. Measures 151 and 152 are marked *mp* and end with a repeat sign.

Measures 153-156 of the musical score. Four staves (R.1, R.2, R.3, R.4) are shown. Measures 153 and 154 are marked *f*. Measures 155 and 156 are marked *sf* and end with a repeat sign.

Measures 157-160 of the musical score. Four staves (R.1, R.2, R.3, R.4) are shown. Measures 157 and 158 are marked *f*. Measures 159 and 160 are marked *sf* and end with a repeat sign.

※Optional Cadenza

Cheerful Morning!

Cheerful Morning!

for Flute Quartet

八橋美奈子